

ベトナム国タイビン省にある国立タイビン医科薬科大学と当社との共同事業であるベトナム人看護師養成事業について、最新の情報をお届けします。

## ▶ 第111回看護師国家試験を受験しました

2月13日、第111回看護師国家試験が行われました。今年の受験生10名は、日本とベトナム両国の感染拡大や厳しい入国制限など、コロナ禍の中で大きな不安を抱えながら試験勉強を続けてきました。10名全員が無事に受験を終えられたことをとても嬉しく思います。

当日は2つの会場にわかれての受験となりました。早朝、緊張した面持ちで出発しましたが、会場に向かう電車の中ではテキストを眺めて最後の振り返りをしたり、時々おしゃべりを楽しんだり、リラックスした様子もみられました。別会場へ向かう仲間と別れるときに強く励まし合っていたことが印象に残っています。

試験後は冷たい雨が降る中の帰宅となりましたが、皆、笑顔を浮かべていました。これまで努力してきた自分を信じて、本番の試験で力を出し切ることができたのだと思います。

翌日の自己採点を終えて感じることは、人さまざまだったようです。一通りの自己採点を終わったら、あとは合格発表を待つだけ！と気持ちを切り替えることも重要です。残り少ない“みんなで過ごせる時間”を楽しんだようでした。

今回の来日では長期にわたる滞在となりましたが、感染予防を第一に考え、ほとんど外出もせず試験勉強に取り組んできました。帰国前日に観光した成田山新勝寺では、おみくじをひいたり、写真を撮ったりと思い出作りもできたようです。2月17日にはお土産をスーツケースに詰め込み、無事、ベトナムへ帰国することができました。

合格発表は、3月25日（金）です。



成田空港にて、帰国直前の一枚

## ▶ コロナ禍での日本語学習について紹介します

大学のあるタイビン省は比較的落ち着いているとはいえ、現在もベトナムでは感染拡大が続いています。昨年は7月だけでなく12月のJLPTも中止になり、学生たちにはメンタル面も含めた様々な影響が出ています。そのような中でもオンライン授業と対面授業を組み合わせながら、日本語学習が途切れることのないよう教員たちは様々な努力と工夫を続けています。今では欠かせないものとなったオンライン授業について、教員たちの声を紹介します。

『コロナ禍ではオンライン授業が唯一の対策。感染防止だけでなく、録画した授業で繰り返し勉強できる利点もある。一方、学生の規律の管理は難しい』『通学にかかる時間を勉強に充てられる。パソコンスキルも身に付き、それは社会人になっても役立つだろう』『日本の天気や文化などインターネットの情報をすぐに見せられることが良い』『（全ての学生がというわけではないが）自己指導能力と自習能力の向上が期待できる』 など

良い面、悪い面の両面がありますが、学生たちがお互いに良い影響を与えあうことを期待しています。

【問い合わせ】



株式会社イノベーションオブメディカルサービス

（担当：中馬・福田）

神奈川県厚木市船子 587-1

Tel/046-220-0777

Fax/046-220-0322

Web/http://vietnam-nurse.com/